

日本学術会議
健康・生活科学委員会・歯学委員会合同
脱タバコ社会の実現分科会
(第25期・第2回)
議事録

(敬称略)

1. 日時 令和3年1月15日(金) 15:00~16:30
2. 場所 オンライン会議
3. 参加者: 村上、朝田、井上、児玉、永田、松本、山下、畔上(事務局)
欠席者: 秋葉、香美、安村
4. 議事録: 司会 山下

(1) 委員の追加推薦

日本学術会議連携会員より、候補として中山健夫先生(京大、公衆衛生関連)、五十嵐隆先生(国立成育医療研究センター、小児科関連)が挙げられた。現在10名のメンバーは20名まで追加可能、日程の制限はなくその都度、幹事会にて承認を得ればよい。今後、五十嵐隆先生については、児玉先生に、アプローチ、ご本人含め小児科連携会員より候補推薦を担当いただく。

また、事務局より各委員に委員追加の申請用紙を配布し、各委員はそれぞれの委員の推薦者に承諾を得た後に申請に必要な事項を記入した申請用紙をまず委員長に送付する。推薦された委員については後日、委員長が候補者を分科会に諮った後、8名まで(2名分は特任連会会員のスペースを空けるため)を幹事会に推薦する。

(2) 特任連携会員の追加

原則1名。埴岡隆先生が第一候補。2名追加の必要性を、山下先生に幹事会に提案説得を進めてもらう。第2候補は中村正和先生あるいはその推薦者か、埴岡先生の推薦者。

(3) 今期活動方針の確認

第24期に発出した提言の社会的波及効果を検証する。

(4) 今後の具体的な活動

関係各省庁担当者を分科会に招き、提言をどう捉えているか話を聴き、ディスカッションする。具体的に該当すべき省庁や機関、ヒアリング内容の検討は各自メンバーの宿題、本年度末から来年度初めに分科会で決定する。

提言の発出が必要か否かは、今後の活動、特任連携会員からの情報提供等を鑑み決定する。

(5) その他

なし